

第4号

平成28年7月20日

# 左近中だより

横浜市立左近山中学校

校長 福田 有志

同校 学校だより担当

## 半夏生

副校長 内田 靖子

「半夏生」はんげしょうと読みます。ドクダミ科の植物で、花は小さいのですが、取り囲む葉が大きく、夏の限られた時期だけにその数枚の葉が白く変身して、白い花が咲いたように見え、しばらくすると、また元の緑の葉にもどって、何事もなかったようになります。偶然にその半夏生で有名な京都の両足院を訪れたら、満開でした。生まれて初めてみた半夏生は、とても清楚で、葉の一部が白くなっているだけなのに、池の周りに群生していると、大変華やかでいつまでも見ていたくなるほどでした。普段は目立たない、緑色の葉が、その一部が白くなることで、はっとする美しさになります。1年365日のうち、たったの20日あまりの期間限定だからこそ、よけいに美しく感じたのかもしれませんが。

3年生の多くが、2年半、こつこつと努力し続けてきた部活の最後の試合を終えて、引退する時期になりました。試合時間はほんの数十分で終わりますが、そこに至るまでの時間は何百、何千時間でしょう。輝く時は、時間にすると、数分、数十分でも、かけがえない素晴らしい時間です。こつこつと努力を重ねたからこそ、その瞬間が輝くのでしょう。半夏生と部活動、無関係に思えますが、どちらも期間限定の美しさや感動があること、地味な、目立たない、普段の日々の中で、きらめく一瞬が訪れること。共通だなあと、思いました。

今、左近山中には満開を待っているひまわりがたくさん育っています。技術員の山家さんと根本さんの丹精の賜物です。満開のひまわりの美しさは感動を呼びます。そこに至るまでは、黙々と手間をかけ、水をやる日々です。部活もそう、勉強もそう、時間や手間をかけずに生まれる感動などないでしょう。

すべてのことには限りがあります。限りある中学時代、限りある学生時代、限りある人生だからこそ、輝く瞬間をより深く味わいたいと願います。それには、日々のことを、やるべきことを、懸命にやること、逃げないこと、が必要だと思えます。夏休みがすぐに始まります。中学1年の夏休みは、今回限り、2年生の夏休みも、3年生の夏休みも、今回限りです。やるべきことをしっかりやって、胸をはって、良い夏休みであったといえるように過ごしましょう。ひまわりのような笑顔のみなさんに8月末に会えることを、楽しみにしています。

# 1学年 学年行事 学年レクと中学レスキュー隊体験

1学年主任 山口 悦子

## 6月23日 午前は学年レク

あいにくの雨で、体育館での実施となりました。朝早くから代表委員が準備に走り回り、そのおかげで大変スムーズな運営ができました。「ドッジボール」「二人三脚」「お玉リレー」「綱引き」と、盛り沢山の内容でしたが、展開の仕方も良かったです。学年全体としても、ルールを理解して懸命にプレーする姿や体育館内に響き渡る応援の声が目や耳に焼き付きました。そして、最後の委員会メンバーによる清掃活動もきれいに・素早く。担当の山下先生は「とても疲れたけれど、機会があればもっとこのような企画をやりたいし、さらに多くの人が運営に関われるように考えたいです」と話していました。

## 午後は中学レスキュー隊

旭消防署の皆様と地域の消防団員の皆様にご来校いただき、「心肺蘇生法」と「ロープ結索法」の講習会が行われました。「高齢化が進む旭区では、災害時に中学生が力を発揮できるようになってください」と、予防課長さんからお話があり、講習が始まりました。班に分かれて機材を実際に使った活動に、皆熱心に取り組んでいました。うまくできない人には、できる人が教えるといった場面も見られました。「救急救命」に関わる学習は、「一回やったから大丈夫」ということではなく、この先も学んでいくことが必要だと感じました。そして、「自分の安全」も「人の安全」も、両方を考えることが大切だと思いました。これからも、機会があれば参加してほしいと思います。

## 学校保健委員会

7月14日(木)3時間目に本年度の学校保健委員会が体育館で開かれました。保健安全委員会の生徒たちが、「熱中症」について調べて発表をしました。熱中症の予防や、万が一の時の対処法などを、わかりやすく寸劇なども交えての発表を、暑い中にもかかわらず全校生徒が真剣に聞いてよく学んでいました。命にもかかわる危険性のある「熱中症」について、自分が予防するすべや、もし仲間がそのような状況になった場合に、どのように対処すればよいのかを知ったことは、大変有意義でした。また、発表だけでなく、保健室の壁面の掲示板には、保健安全委員会の生徒が作った「熱中症」対策の掲示物もあります。学校薬剤師の石井先生やPTAの保健成人委員会の役員の皆様にもお忙しい中をご参加いただきました。ありがとうございました。

## 3学年 修学旅行 京都・奈良の時代へ JUMP 3学年主任 相原 慶

6月22日から三日間、3年生は京都・奈良へ赴き、日本の歴史を肌で感じてきました。梅雨の時期でもありましたが、2日目の班別自主行動が始まる朝には奇跡的に晴れ模様となり、京都での散策を充実させることができました。現地での様子をお伝えしたいと思います。

### 1日目 奈良公園散策～学年レク大盛況



法隆寺をクラス毎に見学しました。世界最古の木造建築がそびえる姿に、生徒たちは、夢中で写真を撮っていました。奈良公園にて班ごとに、ボランティアガイドさんの案内で東大寺の大仏などを見学しました。夕食後にリーダーとなってくれた実生徒全員が企画した催しは、織田信長公らを中心としたストーリーで、学年みんなで大いに盛り上がりました。

### 2日目 京都班別自主行動～能鑑賞

午前中は、生徒たちは自ら企画した見学地をたどりましました。ハブニングもありましたが、賢明な判断を行い、目的地での学習を充実させました。午後はタクシーにて、遠方や徒歩では困難な見学地を巡りました。夕食後は、大江能楽堂にて、「羽衣」の一部を鑑賞しました。

### 3日目 本能寺住職による法話～クラス別体験学習

本能寺ホテルは本能寺の敷地内にあり、この日の朝はご住職による法話に生徒たちは耳を傾けました。1組は宇治抹茶の体験、2、3組は八つ橋作りの体験へと向かいました。宇治抹茶体験では名門の抹茶を頂きました。師範の方からは、大切なお話が聞けました。八つ橋作り体験では、八つ橋を作る体験ができました。出来立ての八つ橋に、皆で舌堤を打ちました。



この修学旅行で生徒たちは今までの学びや経験を生かして大いに成長できました。歴史的文化遺産を敬う気持ちがあり、集団のルールを守るという意識があり、良き仲間と共に学びを深め、美しい思い出を創ることができました。ご家庭の皆様より多大なるご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございました。

子供たちは、これから一人ひとりが自らの目標とする進路に向かって切磋琢磨する期間となります。今回の修学旅行での良き思い出を糧に、目標に向かって地道に努力し、根気よく自分の道を切り開いてほしいと思います。今後ともご家庭、地域の皆様方のご

支援、ご指導をどうかよろしくお願ひいたします。



## 国際平和スピーチコンテスト旭区大会

7月1日に旭区の公会堂で、区内の各中学校から選ばれた代表の生徒が、国際平和スピーチコンテスト旭区大会で発表しました。本校からは2年生の代表者1名が出場し、惜しくも入賞は逃しましたが、他校は3年生が多い中、落ち着いて立派に発表できました。

### スポーツと福祉社会 (2年生女子)

私たちの身の周りには、さまざまな工夫が見られます。もっとうすれば住みやすくなるとか、使いやすくなると創り出されたものです。そして、スポーツの世界にもそのようなものがあります。その一つの例が車いすバスケットボールで使われている車いすです。

私は車いすバスケットボールを部活動の一環として体験したことがあります。そこで私は障害のある選手に会いました。彼は障害を自分の個性としてとらえ、純粋にバスケットボールを楽しんでいました。最初は、「座っているんだからあまり疲れないだろう。」と聞いていましたが、実際に体験してみると想像以上に疲れてしまいました。シュートはふつう腕の力と曲げた膝を伸ばす力とを使って打ちますが、車いすに座っているとひざがのばせないで、ひざを伸ばす力を生かすことができません。それなのに、彼は軽々とゴールを決めていました。一方私はリングにも届きませんでした。また、ドリブルをするときも片方の手は車いすを操作し、もう片方の手はドリブルをしなければいけません。彼以外の選手もみんな速いドリブルを続けていましたが、私はボールを2、3回ついただけでボールが手から離れてしまいました。練習が終わった後、選手に質問する時間があつたので、「車いすバスケットボールをしていて大変だと思ったことはなんですか。」と伺うと、彼は「ゴール下のボールの奪い合いで車いすが接触したり、一対一で車いすが激しくぶつかってケガをすることもあるから、それが大変だ。」と聞いていました。

車いすバスケット用の車いすは日常で使う車いすとは作りが全く違います。車輪は斜めについており、全体的にコンパクトで動きやすい形になっています。しかし、横から追突されると倒れてしまい、一人では起き上がることができません。このように、まだまだ改良の余地があります。その改良には、一人の力では限界がありますが、多くの人々の力が集結すれば、きっと大きな目標を達成できます。ですから、私は同じ目標をもった人たちと協力して競技用車いすの改良や、身の周りのバリアフリーに関わっていきたいです。そのために、日々の学習や部活動に精一杯取り組みながら広い視野を持ち、人とのつながりを大切にしていきたいです。

# 夏休みの過ごし方

いよいよ明日から夏休みが始まります。自由な時間を、有益ゆうえきに使うためには、強い意志いしと計画が大切です。個人面談でも「夏休みを迎えるにあたって」のプリントが配布されました。心に残る充実した夏休みのために、特に気をつけてもらいたいことを書きます。

- ① 毎日朝早く自分で起きましょう。
- ② 朝食をしっかりととりましょう。
- ③ 用事は昼間にすませ、夜更かしはやめましょう。
- ④ ゲームや携帯メールなどを使う時間を決めましょう。
- ⑤ 夜間には必要（塾や習い事）以外の外出は避けましょう。
- ⑥ 花火、大声、多くの人数での集合など近所に迷惑をかけないようにしましょう。
- ⑦ 中学生はどんなことがあっても、飲酒、喫煙は絶対にだめです。



また、最近、携帯電話やスマートフォン等での様々な問題が起こっています。地区別懇談会でも話題にしました。

- 正しい使い方をしましょう。       保護者の管理が必要です。

ご家庭でも、お子さまと約束を決めていただき、決めたことをしっかり守って有意義ゆういぎな夏休みを過ごせるようお願いいたします。

8月29日（月）に、ひとまわり成長した皆さんの元気な顔をみるのが楽しみです。

## 夏休み・・・地域の一員としての自覚と責任

長い夏休みは普段できないことに挑戦する絶好ぜっごの機会であるとともに地域の一員として地域の行事に参加することで地域の人々とふれ合い野を広め、経験を増やすよいチャンスでもあります。予定されているお祭りに参加したり、時にはできるお手伝いをしたりして、地域の良き一員として活動してみたいかがでしょうか。



### ～ 夏 祭 り ～



7月23日（土）左近山2街区（2街区集会所）、桐が作（地域住民広場）

7月30日（土）左近山小高（第3集会所）、あさひ（中央グラウンド）、市沢団地（第一公園）、左近山789街区（ショッピングプラザ）、三反田、小高町（三反田145-1）

8月20日（土）連合自治会団地祭（左近山小学校）

# お知らせ

## 1. 体育館大規模改修工事

7月25日(月)から来年2月末までの間、体育館が大規模改修工事に入ります。グラウンドにも工事用の仮設倉庫や、資材置き場、トイレなどが設置されるため、かなりの部分が仮囲いに囲まれて使用できなくなります。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。日曜、祝日の作業はありませんが、土曜日がありますので、ご理解をお願い申し上げます。大型車両がグラウンド側の正門から出入りすることもあります。ご来校の際はどうぞお気をつけください。

## 2. 防火シャッター改修工事

7月22日(金)から8月5日(金)ごろまで校内すべての防火シャッターの改修工事があります。23日(土)、24日(日)、25日(月)にはかなり大きな音がすることもあります。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 8・9月の主な予定

8月29日(月) 授業開始

8月30日(火)～9月2日(金) 教育相談

9月 8日(木) 前期期末テスト 数学 社会 保体 技家

9月 9日(金) 前期期末テスト 国語 理科 英語

9月30日(金) 生徒会役員選挙演説会・投票

## 学校閉庁日について

本校では今年度から、「学校閉庁日」を設定します。「学校閉庁日」は、「日直等を置かずに、学校として対外的な業務を行わない日」となります。皆様には、ご不便をおかけすることもあろうかと思いますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 1 期間 平成28年8月8日(月)～15日(月)
- 2 形態 原則として、教職員は出勤していません。部によっては活動をする場合もあります。
- 3 緊急時の連絡先 事故や災害等で緊急連絡を要する場合に限り、西部学校教育事務所指導主事室(336-3743)へご連絡ください。
- 4 その他 閉庁期間中に学校に電話をすると、「緊急連絡先の西部学校教育事務所指導主事室(336-3743)へ、平日の8時30分から17時15分の間におかけください。」というメッセージが流れます。